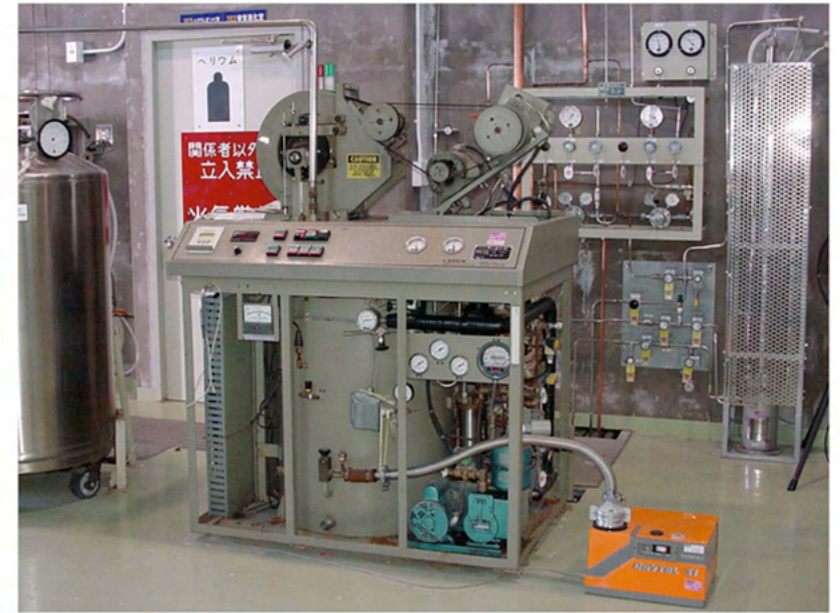


琉球大学 極低温センター



1991年設立の学内共同利用施設で、液体ヘリウムと液体窒素を製造し、それぞれ年間5,000L、25,000Lを供給している。センター内には実験室も4部屋あるが、ヘリウムガス回収配管はここにしかなく、センター外のNMRではヘリウムを回収していない。

刊行物：極低温センターだより(1995年創刊)

<http://www.ltc.u-ryukyu.ac.jp/>

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

※ 掲載は旧設備であり、設備は更新済み、今秋、データ差替え予定

○ヘリウム液化システム(1991年～、逐次増強)

- ・液化機 KOCH1410 10L/h、貯槽 500L
- ・液化用圧縮機 神戸製鋼HC-120
- ・回収用圧縮機 東亜潜水機YS-85 ×2台、油水除去器
- ・回収ガスバッグ 15m³、ドレインポット
- ・回収ガスポンベ 7m³×25本×3基、中圧ガス乾燥器

○窒素液化システム(1992年)

- ・MNP25 20L/h、貯槽1,400L

圧縮空気(0.8MPa)をPSAで窒素分離し、スターリング冷凍機(フィリップスPPG110×2台)で液化